

Air

(エール)

～新風を吹き込む～

donner de l'air

柏原市議会議員

山下亜緯子

やましたあいこ

2017.7

活動報告書No.23

4年間で振り返り、
そしてこれから・・・

4 YEARS



平成25年9月より、皆様のおかげをもちまして、私の3期目の議員活動が始まりました。私は、年4回開催される定例市議会において、3月・9月は会派代表、6月・12月は個人として、「子育て・教育・福祉」などを中心に、あわせて「柏原の将来」を見据えた様々な観点から、質疑質問をさせていただくことができました。

この4年間、議会での発言の際、常に私が心がけていたのは、「分析と議論」ということでした。一つの物事について、市民の方々の声や資料をもとにあらゆる角度から調査研究、分析し、「なぜその事業が必要なのか?」「この事業は、どうあるべきか?」ということ突き詰め議会で議論を行ってきました。

それは、なぜか?それは、今後、日本中の各自治体において、本格的に人口減少社会へ突入します。もちろん、私たちが暮らす柏原市も同じです。自治体が人口減少社会へ進むと、税収が減り、自治体の財政状況がさらに厳しくなります。そのような状況になると、今までのように出された様々な要望に対し、いつかは実現されるという行政運営では財政破綻を招く恐れがあります。だからこそ、一つ一つの事業に対し、「何をやるか」「何を見直すか」「今、求められていることは何か」という選択が必要となり、その選択をするには、事業に対する様々な分析と議論が必要になってくると考えているからです。

しかし、今は、それぞれの議員が、それぞれの意見を理事者に向けて発言する…、という方法です。今後は、今以上に議会の機能・役割を果たしていくために、議員同士の議論が必要となります。そして、議員は、議員同士で議論した結果を、適切に行政へ提示する役割を担う必要があると考えます。



この4年間、実践してきました「分析と議論」を、次のステップにつなげ、議員同士での議論、そして議論を積み重ねることにより、行政へより良い方向を提示できる議会へと導いてまいりたいと思います。あわせて引き続き、4年前にかかげた「議会改革」「子育て・教育・福祉の3本柱の確立」そして「柏原の将来を拓く」という大きく3つの視点を中心に、活動させていただきます。

柏原市議会議員 山下亜緯子



山下亜緯子プロフィール

昭和55年(1980年)生まれ 37才
第二白鳩幼稚園卒、市立堅下小学校卒、相愛中学校卒、
帝塚山高校卒、帝塚山学院大学卒、大阪市立大学大学院修士課程修了
平成17年9月 初当選 現在3期目
平成21年10月～平成23年9月 柏原市議会副議長
平成25年10月～平成26年9月 藤井寺市柏原市学校給食組合議会議長

所属団体

一般社団法人柏原青年会議所	理事
柏原市商工会女性部	理事
看護を考える市町村議員の会	副会長

山下亜緯子活動報告書